

心のふるさとを残そう

小中学校の統廃合で歌われなくなった校歌を、卒業生や地域の方たちと歌い、収録し、歴史的資料として後世に残そうと「那須町校歌フェスティバル」が6月9日文化センターで開催されました。

平成26年度から始まった小中学校の適正配置等計画が、平成30年度で完了したことによる記念事業であり、当日は約390人の卒業生や児童らが参加し、閉校後の母校に思いを馳せながら17校の校歌を合唱しました。収録した校歌は、編集後DVDに保存し、図書館や小中学校へ配布する予定です。



子どもも大人も防災意識を持つて

6月19日、黒田原地区（黒田原第1保育園、黒田原第2保育園、黒田原小学校）で災害時集中的な大雨が降り災害が発生する恐れがあることを想定した、災害時引き渡し訓練を行いました。

保育園では、保育士らが照合票で迎えに来た保護者の名前、園児のクラスと名前を確認し、引き渡し時間を記入。災害時でも確実に園児の引き渡しができるよう、緊張感を持って訓練に取り組みました。



黒田原第1保育園

ようこそ那須へ ～台湾台南仁愛小学生と交流～



5月27日、高久小学校の児童と異文化体験旅行で訪れた台湾の台南仁愛小学校の児童11人が授業や給食をおして交流しました。

ウェルカムセレモニーでは、高久小の児童らが鼓笛を演奏し歓迎。台南仁愛小の児童らがフラッグダンス（写真上）等を披露しました。

各学年に別れての授業参観では、プログラミング（写真下）や折り紙、けん玉等の日本の遊び、ドッヂボールなどをとおして交流しました。



県指定無形民俗文化財
半俵の寒念佛

▼日時 7月20日(土)午後1時～
場所 半俵公民館



イベント情報

7月～8月

協働のまちづくり認定事業
黒田原駅前マルシェ(宵の市)

地元農産物生産者や飲食店、クラフト作家などのおしゃれにこだわった「おいしいもの」「すてきな物」に加え、すてきな音楽で「特別な時間」を満喫しませんか。7月27日(土)にはおしゃれに閑したワークショップを開催します。

▼日程 8月30日(金)、9月27日(金)
▼時間 午後6時～9時
(7月のみ午前10時～午後5時)
▼場所 カフェ・ラ・ディトン
ツ、旧立正校成会広場
▼問合せ 渡辺陽一 □73-5272

八雲神社例大祭

▼日時 7月27日(土)午前11時～午後9時
▼場所 黒田原駅前通り（藤田倉庫・蓮見燃料店）
▼内容 バンド演奏、フラダンス、ゆかたコンテスト、夜の流し踊り、地元のおいしいお店の出店

▼問合せ 黒田原夏祭り実行委員会 □72-0148

同時開催 黒田原夏祭り

考えよう 地域のこと 動物のこと

6月15日、那須中学校で土曜授業が行われ、1年生と地域住民を前に、那須どうぶつ王国総支配人の鈴木和也氏が「地域を学ぶ」を題に講演しました。鈴木氏は、趣味の自転車やどうぶつ王国のバードショーや動物とのファッションショーなどを取り上げ、「自然がある那須だからこそできることがある」と那須の自然の魅力について話しました。

また、那須どうぶつ王国が取り組んでいる国内希少野生動植物のツシマヤマネコの保全活動や絶滅危惧種のライチョウの生態等を紹介し、自然を守ることの大切さを伝えました。

1年2組の菅沼幹太くんは「ライチョウの生態を初めて知った。自然を守るために、ごみ拾いなどをしていきたい」と振り返りました。



オペラの世界を楽しむ!



6月10日、文化センターで移動音楽鑑賞教室が開催され、町内全小学校の4~6年生約500人が、プロのオペラ歌手の声量や混声四重唱のハーモニーの美しさを体感しました。途中、代表児童がステージに登壇し、会場全員で声の出し方を体験し、「ドレミの歌」を合唱しました。最後に、黒田原小学校の先生がオペラ中にサプライズ登場し会場を沸かせました。

オペラは初めてという東陽小6年のセラфин ナオキさんは、「様々な音が重なり合ってとてもきれいだった。発声練習をして、いつも出ない声が大きく出るようになった」と感想を述べました。



▶5月22日、全国赤十字大会が東京・明治神宮会館で行われ、来場者約2,000人の前でスイス楽器の演奏が披露され、アルプホルン演奏の部では町から海藤邦雄さん森田滋さんが参加しました



▶昔ながらの農作業風景を再現。史跡「遊行柳」を背景に、馬を使った代かき、早乙女たちの田植え、花嫁行列が披露され、大勢の力メラ愛好家や観光客らを楽しませました
(6/2 芦野田植えまつり)



第12回元気アップ ひまわりまつり



ひまわりの花を道路から見下ろせます。また、写真撮影花見台設置、軽トラ市、各種イベントも実施します。

▼日 時 8月4日(日)午前10時~午後3時

▼場 所 狸久保集落内のひまわり畠(臨時駐車場から歩行者天国を設定します)

▼問合せ たぬきの郷を守り隊

代表 高久 ⑦(72)1820

那須温泉ファミリー盆踊り &那須温泉大道芸

▼日 時 8月2日(金)午後4時~9時、3日(土)午前11時~午後の時

▼場 所 那須温泉神社前(足湯こんばいの湯前)

内 容

・盆踊り2日午後7時~、3日午後7時30分~(盆踊り参加者を対象とした大抽選会があります)
・打ち上げ花火3日のみ
・大道芸2日午後4時~、3日午前11時~
・地元の飲食店による屋台が出店※雨天時は、旧那須小学校体育館
・問合せ 那須温泉ファミリー盆踊り実行委員会 長場

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

夢・感動通信

学校を核とした地域ネットワークづくり

No.7

学校と地域の皆さんとともに汗を流す活動を「地域学校協働活動」と言います。お祭りやフェスティバル、高齢者美化活動など、地域と学校の双方への交わりにより、子どもたちの地域への愛着が、一



▶ふれあい祭り（学びの森小学校）

6月号では、地域の皆さんに支えられる「ヨコハマティ・スクール」の様子をお伝えしました。今年度も、400人を超える地域の皆さんに、学校支援ボランティアに登録していただいています。こうした学校支援の動きに加え、子どもたちが地域に出向いてさまざまな地域活動に参加する動きも、「ヨコハマティ・スクール」の特徴です。



▼問合せ

生涯学習課生涯学習係
☎ 77-6923

層深まることが期待されます。
高久小学校では、総合的な学習の時間に、伝統芸能「本郷八木節」のことを知り、保存会の皆さんから技術指導を受け、公民館主催の「なんでも芸能自慢大会」で一緒に発表するという地域学校協働活動を開きました。この取組みは、「ヨコハマティ・スクール」の可能性を示す好事例として、多くの注目を集めています。

各地域の特色ある地域学校協働活動は、地域活性化の重要な力点となっています。



1番人気はチーズがとろり「ミートтопポテトのラザニア風」のパイ



ジュエリー作家である娘さんの作品も店内に並んでいます



国道4号線から見える緑に囲まれたお店でゆっくり過ごせます

「家族」に、地元の人々に、遠方からのお客様に支えられてきました」と話すのは、平成4年から焼きたてパイのお店を営むカフエママの竹井和子さん。ご主人の転勤先の郡山でハーブ出会い、ハーブを使った料理やお菓子を作っていた

そうです。この場所で開業したのは「四季折々の雑木林が大好きだから」と竹井さん。店名はハーブの名前から選んでつけたそうです。お店で最初に提供したのは、家族のために焼いていたアップルパイ。今では、ランチパイやデザート。

那須のいろいろおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっとひと息

7

母の愛情 焼きたてパイ



山野草がさりげなく飾られた落ち着いた店内。テイクアウト用のパイやクッキーもあります



トパイなど合わせて20種類がメニューに並びます。パイの具材・ジャムはすべて手作りで、野菜・肉・卵など那須地域の素材にこだわっています。そんなタラゴンのパイを広めたいと、6年前に2号店「Taragon nasu II」を守子にオープンし、現在、息子さんがその味を受け継いでいます。定年退職後ご主人も、パイ生地を作り、家族でその味を守っています。焼きたてパイは、母の愛情がぎっしり詰まった優しい家庭の味です。

みんなの広場

表紙シリーズ「はぐくむ喜び」では、町を支える農業の魅力をご紹介します。



No. 7

リンドウ農家 農業士
平山和彦さん 圭子さん(長南寺)

リンドウは、那須野ヶ原一帯に
自生しており、8月下旬から9月
にかけて咲き誇り、「町の花」と
しても親しまれています。

平山さん夫妻は、30年前に那
須町農協（現JAなすの）で推進
していたこともあり、リンドウの
栽培を始めました。リンドウ栽培
は、1年目に株の養成、出荷でき
るのが2年目から、また、連作が
できないという難しさもあるそう
です。畑の移動ができないため、
平山さん夫妻は丁寧にコンテナ栽
培をしています。

「良いものができるように、毎
年品質向上に取り組んでいま
す」。リンドウの花言葉の一つに
「誠実」があります。平山さん夫
妻のリンドウ栽培に向き合う姿が
「誠実」そのものでした。

短歌

遊行柳投句箱

早蕨の草の中より萌え出てて
芽柳に令和の風のやわらかさ
摘む手軽やか足元危うし
馬づ子の笑顔に応え参道の
岩手山麓笑顔に満ちる

有坂
進

塩島
恵子

澤田
千

君島
昌子

久に来る新茶の甘き遊行庵
那須塩原市

那須町

作務僧の無我一心に草むしり
新たなる直進道路植田風
庭の木に蛍飛び来るわが家かな
一隅を占める女子会ゆりの花
梅雨じめり気分を変えに美容院

佐藤
田部井清子
小森
白田
田中
思樓

俳句

・那須文芸

薰風や胸突き八丁登りきる
網たぐる漁師のかいな風薰る
駆けて来る君が黒髪風薰る
風の香や老のほまちの野菜畠
薰風や孫ヤンキーの髪になる
擬声語を鎮もる森に時鳥
としよりの朝の目覚めや時鳥
風うけて卯月の空に万国旗
万緑に染まり心の憂きを解く
父母の山河恋しや鮎鱈

丹野
中込とし郎
中島
君江
杉本
美風
池田
裕子
高畑
和子
高久
巻江
松浦
秀文
鮎瀬
汀
井出かへい
田部井清子
小森
静江
白田
静江
田中
思樓

丹野
セツ
井上
均
中島
博子
中島
君江
杉本
美風
池田
裕子
高畑
和子
高久
巻江
松浦
秀文
鮎瀬
汀
井出かへい
田部井清子
小森
静江
白田
静江
田中
思樓

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

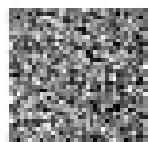
■締切り 7月18日(木)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎ 72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課秘書広報係 ☎ 72-6901



広報「那須」がパソコン・スマートフォンで読みます

県内の広報紙などをまとめた電子書籍ポータルサイト「トチギイーブックス」に広報「那須」が掲載されています。

電子書籍なので、本をめくる感覚で閲覧することができます。（専用アプリのダウンロードは不要です）ぜひご活用ください。

URL : <http://www.tochigi-ebooks.jp>

子育て相談支援

子育て支援センターでは、子育ての不安、子どもの発達に関する相談をお受けしていますので、気軽にご利用ください。なお、平日お出かけできない方のために次のとおり相談日を設けています。

- 日 時 7月20日(土)、8月17日(土)
午前9時30分～午後4時
※別日の希望があるときは、ご相談ください。
■場所・問合せ 子育て支援センター ☎71-1137



行政相談

予約し、予約がない場合、巡回
相談は実施しません。

- ▼日 時 7月19日(金)、8月2日(金)
午前9時～正午

- ▼申込み・問合せ 県民プラザ
☎028-623-2188

- ▼課 大田原市総務
☎0287-23-1111

移動県民相談

- ▼予約方法 8月1日(木)～7日(水)
の期間に電話で予約をすること
ができます。

- ▼会場 ゆめプラザ・那須
内 容 行政上の困りごと
▼問合せ 平山英夫行政相談委員
(自宅)☎72-5234

- ▼心配ごと相談
▼日 時 7月22日(月)午前10時～
午後3時

- ▼会場 ゆめプラザ・那須
内 容 県政に関する相談
▼応対者 県民相談員1名
▼問合せ 那須県民相談室
☎0287-23-1555

- ▼人権相談
▼日 時 7月29日(月)午前9時30分～
正午

事例

消費の豆知識



- ATMで還付金はもらえません
還付金詐欺に注意！

- 困ったときは一人で悩まず相談しましょう

- ▼問合せ ○那須町消費生活センター
☎72-69337

- 栃木県消費生活センター
☎028-625-2227

役所から「百万円以上残高のある通帳を持つて手続きをすれば、口座に還付金2万8千円が振り込まれ」という電話があつたので、通帳を持ってスーパーのATMに行つた。指示された番号に電話し、担当者から言われた暗証番号982337を入力し操作をした。還付金が振り込まれたと思い、残高を確認したところ、98万2337円が他人の口座に振り込まれていることがわかつた。

(60歳代 女性)

ひとこと助言

「お金が返つてくるのでATMに行くよう」、「お金が返つたら還付金詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切つてください。役所などの公的機関や金融機関などの職員がATMの操作をする

那須町消費生活センターへ！

- 開所日 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
■時 間 午前9時～正午、午後1時～4時
■場 所 那須町役場内1階東側
■電 話 0287-72-6937

「消費者ホットライン」3桁の電話番号**188番**へ
土日など役場がお休みの時にも、相談可能な窓口へおつなぎします。(年末年始を除く)

ように連絡することは絶対にあり
ません。銀行店舗のATMではなく、操作の様子が周囲の目に付き
にくいスーパーや駅などのATM
へ誘導するケースが見られます。

ATMの操作の際に、振込金額
を「暗証番号」「受付番号」と言
つたり、振り込みボタンを自分の
口座への振り込みだと誤信させた
りして、自分の口座へ振込手続き
をしているよう言葉巧みに錯覚
させるのが手口です。

令和元年7月・8月のカレンダー

7月10日～8月9日

7月

10 水 休館（りぼーる）

11 木

12 金

13 土

14 日 休日当番医診療 那須脳神経外科病院（☎62-5500）

15 月 休日当番医診療 ふじおか内科小児科（☎64-3366）
休館（ゆめプラザ・那須）

16 火 休館（図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム、ゆめプラザ・那須）

17 水 休館（りぼーる）

18 木

19 金 行政相談（ゆめプラザ・那須 午前9時～正午）

20 土 半俵の寒念仏
子育て相談（子育て支援センター 午前9時30分～午後4時）

21 日 毎月第3日曜日は家庭の日です。
～家庭のきずなを深める日としましょう～那須町教育委員
休日当番医診療 立花医院（☎72-0311）

22 月 心配ごと相談（ゆめプラザ・那須 午前10時～午後3時）
休館（図書館、スポセン、文セン、探訪館）

23 火 不動産相談
(不動産会館県北支部 午後1時30分～3時30分)
休館（ゆめプラザ・那須）

24 水 休館（りぼーる）

25 木

※休館案内 表示と問合せは以下のとおりです。

図書館：那須町図書館（☎72-5840）、スポセン：那須町スポーツセンター（☎72-5959）、文セン：那須町文化センター（☎72-6565）、探訪館：那須歴史探訪館（☎74-7007）、ドーム：那須スイミングドーム（☎72-6788）、野外：那須町野外研修センター（☎74-3711）ゆめプラザ・那須：那須町こども未来課（☎72-6959）、りぼーる：りぼーる・たなか（☎73-5347）です。

※検診等は保健センターだよりをご覧ください。※内容等は変更になる場合もあります。

7月の納税

納期限

7月31日(水)

- ・固定資産税2期
- ・国民健康保険税1期
- ・介護保険料1期
- ・後期高齢者医療保険料1期

納め忘れの町税はありませんか？
今一度ご確認ください。

○納税は便利な口座振替で！ ○コンビニでも納められます。
○クレジットカード納付や、ヤフー公式アプリでの納付もできます。
(クレジットカードの納付は町県民税、固定資産税、軽自動車税、
国民健康保険税のみ納期限内に限ります。詳しくは税務課まで☎72-6904)
※毎週金曜日は、午後7時15分まで税務課窓口で町税の納付ができます。

24



広報那須8月号 8月5日(月)発行

「殺生石」物語考

物語の概略(18)

泰親の呪文が続くにつれ、玉藻前の形相は見ていくうちに変わり、たちまち、人々の眼前に、その正体を顕し始めた。天女のように美嬌麗姿はみるみる、金毛九尾白面の狐に変じ、居並ぶ公卿や殿上人、女官たちは皆肝をつぶした。と、今は妖狐に変じた玉藻前は、魔風の荒れる中に、突如黒雲を呼び、漆黒の虚空の彼方へ、まさに飛び去ろうとする。これを見た泰親は、祈檀の四方の四色の幣を一まとめに取り上げると、妖狐を追いかけながら雲を目当てに投げつけた。赤、白、黒の幣はそのまま地に落ちたが、祈檀の東方の青色の幣のみが、雲とともに何処へとなく消え去った。身の毛をそばだてながら、痴呆のように傍観していた人々の頭上に、やがて、晴天が元のように広がり始める。

これと同時に、天皇の御惱は、一転して平癒する。天皇の御惱は浅からぬものがあり、泰親は

親は、多くの賞賛と褒美を戴き、面目をほどこす。加茂明神もまた、その威徳を多いに、人々に讃えられた。

妖狐とともに消え失せた青色の幣について、泰親は、都より遙か東方の地に落ちているはずであり、その所こそが、妖狐が潜む地であると明言した。朝廷は早速、東国筋へその旨のお触れを出した。

ここに、関東下野国那須郡の領主に那須八郎宗重という者がいた。早速、家来とともに領内を見回った彼は、那須野の原に青色の幣を見つける。八郎宗重は、すぐさま都に注進するとともに、家来及び領民をかり集めて、三日三晩狩りを行う。しかし、広大な原野に、その姿を見つけることは至難であり、そういううちに、領内のそちこちから、人畜が食い殺されるなど、多くの被害が報告された。

度初めて那須町に大雨警報が発令され、町は災害警戒本部を設置しました。梅雨入りし、秋頃まで大雨、台風など風水害に警戒が必要な時季です。今月号8・9頁に防災情報を持載していますが、どんな災害にも、日頃の備えが大切です。みんなで「いざ」に備えましょう。(米)



筆者 前那須歷史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

蒲焼きの匂いが通りに溢れ出て

きょう猛暑日十曜升の日

大雨が降り災害が発生するおそれがあることを想定し、黒田原地区の保育園と小学校で、引き渡し訓練が行われました（24頁）。保育園のいつもと違うお迎えの時間。保育士だけではなく、園児たちも緊張感の中で、ホーリルに集まり静かに保護者の迎えを待っていました。「いざ」というときのための訓練ですが、日頃から災害への心構えを持ち、家庭でも子どもと災害について話し合っておきましょう。（飯）

那須水害から21年が経とうとしている。年々災害の風化が危惧される中、昨年度、当時の教訓を伝える若手職員向けの研修会が行われ、身が引き締まる思いをした。また町では防災教育にも力を入れており、火山や地震、水害等のあらゆる災害に備える行動力を身に付けようと教師も子どもたちも真剣に取り組んでいる。いつ起きててもおかしくない自然災害。この機会に防災意識を見直したい。



「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(6月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数	10,355世帯	(0)
・人口	25,165人	(-49)
	男 12,487人 (-21)	女 12,678人 (-28)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。
お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。